式辞

固く用じていた桜のつばみもようやくほころび始め、春の訪れが感じられる季節となりました。今日のよき日に、第六十四回卒業証書授与式を挙行することができましたことは、卒業生はもとより、私たち教職員にとりましても、大きな喜びでございます。また、本日新型コロナウイルス感染症予防のため出席しておりませんが、今日のよき日に向け、お世話になった卒業生のためにと、一心に校内清掃、式場準備にと汗を流してくれた在校生の思いを、一同、心にとめておきたいと思えます。

さて、本日六年間の小学校課程を修了し、この琴芝小学校を巣立ちゆく、四十五名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。先ほど、一人一人に手渡した卒業証書は、みなさんが立派に小学校生活を終えたあかしです。そして、その中には、みなさんが六年間の学校生活の中で学んだこと、頑張ったことが込められています。また、これまでのみなさんの成長を、温かく見守り、支え、励ましていただいたご家族、地域の方々、教え導いてくださった先生方の深い愛情が込められていることを忘れないでください。

令和三年度も新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年間でした。相次ぐ行事の変更、黙って食べる給食、感染予防のために友達と会えない日々を過ごした人もいました。そんな中でも、くじけることな

く皆さんは力を発揮してくれました。下学年のお世話をしながらコロナ禍の中でも工夫してみんなを楽しませてくれた「ウォークラリー集会」。変更になった萩・長門・美祢への修学旅行。グループで協力し合い、自分たちで考えながら学びあう姿を見ることができました。松陰神社で、地域のお年寄りの方に「みんな大変丁寧に挨拶されてとっても気持ちよかった」とお褒めの言葉をもらいました。みなさんが琴芝小学校の代表として自覚し、立派な態度で行動することができ誇らしく思いました。

みなさんは、歴史の大きな変わり目に、小学校を卒業したことになります。今回の新型コロナウイルスは、「日本の歴史を変えた」「日本の社会を変えた」「日本の生活様式を変えた」百年に一度の出来事として、「未来の教科書」に書かれているはずです。みなさんが大人になったとき、このような時代をしっかりと生き抜いたと胸を張って語れるでしょう。とはいえ、これからも世界は刻々と変化していきます。そんな中でみなさんは、どのように過ごしていったらいいでしょう。

「意志あるところに道が開ける」という言葉があります。これは、しっかりとした目標をもつてあきらめずに頑張り続けることができれば、他人や世間から何を言われようと気にすることなく、やがて自分の夢は叶うという意味です。

しかし、時には、失敗し、挫折をすることもありますが、一生懸命頑張った後の失敗は、次の成功の大きな栄養になります。この失敗という栄養が、更に自分を大きく成長させることを知っておいてください。

さあ、みなさん中学生になっても、何事も自分から一生懸命取り組む姿勢を忘れないでください。

目の前の小さな目標を一つ一つ達成していくことで、いつか大きな夢にたどりつきます。みなさんの今後の活躍を期待します。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。小さい体にランドセルを背負った姿が頼もしく見えた六年前の入学式。あの日から今日

まで、語り尽くせぬ多くの喜びと、多くのご心配やご苦勞があつたことと思ひます。今、このように立派にたくましく成長した我が子の姿を目の前にして、感慨もひとしおのことと存じます。本日、ここに義務教育の第一段階を終えられたことに、あらためてお祝い申し上げます。同時に、卒業生一人ひとりが、自分の

「夢や目標」に向かつて大成されるよう、そして、山口県の未来を、日本の未来をひらく人材へと成長されるよう、教職員一同願つております。

卒業生の皆さん、いよいよお別れのとときです。

卒業は、おわりではなく、はじまりです。今日から始まる人生は、果てしなく遠い旅であることは、言

うまでもありません。この果てしない旅へのはなむけに、私の好きな詩を、贈ります。

赤い花は 赤く 白い花は 白く

自分の個性を生かして 力いっぱい

自分のために咲けばいいのです

赤い花は 赤く 白い花は 白く

お互いのよさを認め合い 心やさしく

ひとのためにも咲けばいいのです

自分のことだけ考え 他人の迷惑をも思わず

善悪の判断のないまま咲いた花は

どんなに大きく美しくても

人生の実をつけることはないでしょう

赤い花は 赤く 白い花は 白く

それぞれが助けあい 励まし合い 謙虚に 誠実に

世のため咲けばもつといいのです もつと 輝くのです

卒業生の皆さんの ますますの活躍を期待していただきます。最後になりますが、本日もご臨席をいただきま

した、学校運営協議会会長井上博己様、PTA 会長中田英二様、保護者の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和四年三月十八日

宇部市立琴芝小学校 校長 藤本 満士